

事業所名

放課後等デイサービス リトル青い空

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

4日

法人（事業所）理念	社会福祉法人 樹の実会は”大きな樹”を育むように全てのご利用者様のそれぞれの成長を願い、豊かな地域生活の実現を目指します。					
支援方針	18歳(児から者へ移行する時期)という近い将来を見据え、それに必要な学習・生活・人と関わる力をつけていく為の支援を行っていきます。					
営業時間（学校がある日）	10時	00分	18時	00分	送迎実施の有無	あり なし (学校 ⇒ 事業所 ⇒ 自宅)
営業時間（学校が休みの日）	9時	00分	17時	00分	送迎実施の有無	あり なし (自宅 ⇒ 事業所 ⇒ 自宅)
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<p>(目的) 基本的な生活スキル(食事・排泄・衣類着脱等)と、将来地域生活を営む為に必要な生活スキル(買い物・整理整頓・洗濯・金銭・危機回避等)の獲得を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登所後の身支度(手洗い・検温・衣類の着脱・トイレ等)をスモールステップで学びます。 ・出来ている所、苦手な所を細かく確認し、家庭でも行って頂けるようお伝えします。 				
	運動・感覚	<p>(目的) 個別課題や集団活動を通して、自分の身体と心のコントロールする力を育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粗大運動…遊びの中で自身のボディイメージと全身のバランス感覚を養い、自分の身体を上手に使えるようにしていきます。 ・微細運動…手指課題を行う事で生活に必要な動作(箸を使う、鉛筆を持つ、紐を結ぶ等)を覚えていきます。 ・屋外活動…敷地内の芝山や畑などで活動する事で、バランスをとりながら歩いたり遊ぶ力を身につけます。 ・音楽活動…様々な楽器(ピアノ、大正琴、フルート、クラリネット、龍笛など)の音色にふれ、歌う事で音感やリズム感を育みます。 				
	認知・行動	<p>(目的) 個別課題で学習したことを実際の生活に結び付け、将来の自立に役立たせます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の素地となる記憶や色や物を見比べる力、思考力等を伸ばす為の課題をレクリエーションの中で行います。 ・予定表や時計を見ながら次の活動に入ることを学んでいきます。 				
	言語 コミュニケーション	<p>(目的) 言葉や身振り・表情で気持ちを伝えたり、相手の気持ちを理解出来る様にしていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢差(小1～高3)のある中で過ごす事で、自分の立場と役割を考え、友達(年下・年上)大人それぞれに合った対応を学びます。 ・大人になった時必要となる、人との距離の取り方や他者からどう見られているか等を学んでいきます。 				
	人間関係 社会性	<p>(目的) 社会に出る為に必要なルールやマナーを様々な実体験を通して育てていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物学習やお出かけ(近隣の図書館や体育館など)の際に、ミーティングで交通ルールや利用時のマナー等について話し合い実施します。 ・紙芝居や絵本の読み聞かせの中で、伝統行事やSDGs、保健衛生などをテーマにした題材を鑑賞し学んでいきます。 				
家族支援	年齢を重ねると共に変化する発達における課題や思春期特有の行動等を乗り越える為、事業所での様子をお伝えしたり、ご家庭での様子を伺い情報共有をする中で、ご家族の困りごとに寄り添いながら助言やサポートを行います。	移行支援	地域の成人施設・GHの見学や体験等を通して将来に向けて見通しを立てていただいたり、成長すると共に変化する課題を明確にし支援してきます。			
地域支援・地域連携	学校との面談や関係機関と連携する事で双方からのアプローチをする事や、地域の社会資源を活用し体験や遊びを通して交流の場を広げます。	職員の質の向上	年間計画に基づき各種内部研修(「防災・車両」「苦情解決・虐待防止」「個別支援計画・記録」「会計」「労務・勤怠」「障害児・者福祉の変遷」「福祉制度・サービス」など)を実施しています。また、外部研修にも積極的に参加し職員の質の向上を図っています。			
主な行事等	お正月の遊び体験・節分・お花見・ベリーや野菜の育成と収穫・スイカ割り・お月見レク・ハロウィン工作・クリスマス工作や、春と秋の演奏(鑑賞)会、長期休暇には調理実習(焼きうどん・焼きそば等)など様々な体験・外出を行っています。					

【法人理念】

社会福祉法人 樹の実会は“大きな樹”を育むように全てのご利用者様のそれぞれの成長を願い、豊かな地域生活の実現を目指します。

【支援方針】

18歳(児から者へ移行する時期)という近い将来を見据え、それに必要な学習・生活・人と関わる力をつけていく為の支援を行っていきます。

営業日・時間 月～金(土・日・祝休み)

(学校がある日) 10:00～18:00

(学校が休みの日) 9:00～17:00

送迎の有無 有り(中央区・若葉区・緑区)

支援プログラム



運動・感覚

☆目的☆ 個別課題や集団活動を通して、自分の身体と心をコントロールする力を育てます。

・粗大運動 遊びの中で自身のボディイメージと全身のバランス感覚を養います。

・微細運動 手指課題を行う事で生活に必要な動作(箸を使う、鉛筆を持つ、紐を結ぶ等)を覚えていきます。

・屋外活動…敷地内の芝山や畑などで活動する事で、バランスをとりながら歩いたり遊ぶ力を身につけます。

・音楽活動…様々な楽器(ピアノ、大正琴、フルート、クラリネット、龍笛など)の音色にふれ、歌う事で音感やリズム感を育みます。



健康・生活

☆目的☆ 基本的な生活スキル(食事・排泄・入浴・衣類着脱等)と、将来地域生活を営む為に必要な生活スキルの獲得を目指します。

・登所後の身支度(手洗い・検温・衣類の着脱・トイレ等)をスモールステップで学びます。

・出来ている所、苦手な所を細かく確認し、家庭でも行って頂けるようお伝えします。

認知・行動

☆目的☆ 個別課題で学習したことを実際の生活に結び付け、将来の自立に役立たせます。

・学習の素地となる記憶や色や物を見比べる力、思考力等を伸ばす為の課題をレクリエーションの中で行います。

・予定表や時計を見ながら次の活動に入ることを学んでいきます。



人間関係・社会性

☆目的☆ 社会に出る為に必要なルールやマナーを様々な実体験を通して育てていきます。

・買い物学習やお出かけ(近隣の図書館や体育館など)の際に、ミーティングで交通ルールや利用時のマナー等について話し合い実施します。

・紙芝居や絵本の読み聞かせの中で、伝統行事やSDGs、保健衛生などをテーマにした題材を鑑賞し学んでいきます。



本人支援
5領域

言語・コミュニケーション

☆目的☆ 言葉や身振り・表情で気持ちを伝えたり、相手の気持ちを理解出来るようにしていきます。

・年齢差(小1～高3)のある中で過す事で、自分の立場と役割を考え、友達(年下・年上)大人それぞれに合った対応を学びます。

・大人になった時必要となる、人との距離の取り方や他者からどう見られているか等を学んでいきます。

(家族支援) 年齢を重ねると共に変化する発達における課題や思春期特有の行動等乗り越える為、事業所での様子をお伝えしたり、ご家庭での様子を伺い情報共有をする中で、ご家族の困りごとに寄り添いながら助言やサポートを行います。

(移行支援) 地域の成人施設・GH等の体験や見学を通して将来に向けての見通しを立てていただいたり、成長すると共に変化する課題を明確にしながら支援します。

(地域支援・地域連携) 学校との面談や関係機関と連携する事で双方からのアプローチをする事や、地域の社会資源を活用し体験や遊びを通して交流の場を広げます。

(職員の質の向上) 年間計画に基づき各種内部研修を実施しています。また、外部研修にも積極的に参加し職員の質の向上を図っています。

(主な行事等) お正月の遊び体験・節分・お花見・ベリーや野菜の育成と収穫・スイカ割り・お月見レク・ハロウィン工作・クリスマス工作や、春と秋の演奏(鑑賞)会、長期休暇には調理実習(焼きうどん・焼きそば等)など様々な体験・外出を行っています。